

楽しんでしまった 荒神山 三重ノンビリズム再発か

「泊る(食)ビール一本付で5千円と減法(せい)上に、
空気がきれい、静けさ抜群、全館独立入浴勝手と
これ以上の好条件のところはあるまいというのが、何回も
荒神山会館。ここを選んだ鈴鹿のハコの皆様は、
先ず感謝しよう。
それにお京人形劇団のアトラクション付である。
あの時、武野燭君が若い女性にまじって大ふんどう
敵意の出したも人形のつかい方も薄く上手に
みんな驚いた。
フルコイルはみんなふしぎと遠慮から、新年
会を飲み残しのウイスキーで十ハコと足った。

伊勢神宮・塩を作る バラさんの伯展のこと

去る6月、2日から7日まで東京キャンサロンで挙行された
バラさんの伯展。視点を展覧の直前に終るといって、我われ
にとってはタイムリが過ぎるかつたし、オー・遠く来たせいもあり
誰も見に行けなかつたけれど、観客多数の中に本部の先生
がたより名が来て下さった。四ハ先生、中央先生、コバさん先生。
そしてその後、日島先生より電話あり、次女のリアリズム
ニュースに掲載されること決定。めでたし。
尚、7月14日から25日まで、多田屋キャンサロンにて
伯展。こんな日は皆さん行きましょね。全倍も、全紙45。
それから近頃書道に挑戦のバラさん。この方も東京で
伯展開催が決定済み。なんとも不思議な回。神さんの
方も、彼の超能力、霊力を求めて全国で千人を超える人が
匡章をやるなど、夏あよそJRP会員に心えぬ活躍。

珍しく清水さんが家快にのんびりした。彼強くなったぞんだ。
将棋初段が現われたのには一同びっくりした。
五ヶ所のハコの新人(宇仁君(21才)である。みんなそんな
こと知らぬから次から次へと挑戦してバックバタと
なで切り、自給2段のアドもコロコロとやられた。後で
初段ときかかれ一同びっくり。
暮はスミオ・シミズ・アトンの名が、夜が明けると
やっていたそうよ。どうも暮は空に入らん。三重から
暮をくたくする運動を早く展開せよといかん。
ケンタマは是非かなくていいなあ。ケンタマ2段を自分で
認可するだけあつたアドは、つまい。アイツ(遊)びことな
つまい、つまい。
坂東のハコの人達は割合日つく帰った。
さて、いらん事はかりまわしてきて、(子)具のこととは
いつと、定は柔的だったのです。(や)むかえはんに詳報)

80年度オ一回理事会開催について

表記理事会を左記の通り開きます。この
理事会では、主として(子)具教育、視覚巡回展
支部展、箱活動等、80年後期の三重支部の
活動について話し合いたいと思っております。
理事でない一般会員の方もできる限り出席して
是非ご意見を伺い聞かせ下さい。
理事の方にはこの記事をもちろねに招集状に代え
させていただきますので、よろしくお願ひします。
記
日時 7月 20日 午後8時
場所 古市公民館
議題 80年後半の三重支部の活動について
後ふらりとやってきました。これこんどは百万石のせて下さいと
言われて、またふらりと帰ってまいりました。スミオさんのこと。

カサブランカへの旅・百万石 とくしま礼重利須年と海を渡る

たいへん派手な見出しですみません。
実は舟さんの、こんど着く港に、舟子
さんが、礼重利須年と百万石を郵便で
送ったというだけのこと。
セロッコのカサブランカです。そこに入港す
るのが7月の中旬。
「東さん、とくしま礼重利須年、そしかした
ら貸して下さいね」
「セロッコまで送ったのです。もし舟さん
の船が出港してしまつた後に、舟さんと
もう一度、この船にのります」
「舟さん
いつも百万石を葉にしているのです」
「そして、こんど是非、とくしま礼重利須年
も読んで欲しいのです。6、7、8月号と
みな送りました」
「徳島にはすてき
な人が、少くとも3人いますね、文明さん
と松さんと、坂梨さんと……」

松阪の箱の平本君 東京の舞妓さんにばんばる

バラさんのおかげで、こんど18才の舞妓
さんに、密着取材ができるようになった
平本君。そのオ一回の撮影行は、
一泊二日、フィルム40本の戦果。
それまではよかったが、現像で手がびびって
そのうち4本をおしやうか。その4本が
よくもよってセミヌード(正確には上4
ヌードだ)のばかりとは残念至極。
ハル談はやめにして、その舞妓さん
のふるまひは松阪の近く、平本君
はその実家での撮影も、お許して
もらつてある。
彼のことだから、今までの類型的
な舞妓(子)具を、穴き破つた、すばら
しいものを作ってくださると思ふ。
「平本君がくばれ！」
それにしても、バラさんの口添えの偉力は
凄い。ハルも拒否された部屋……

(後記)若い会員のうちに、(子)具というものを、 非常に長い目で考えている人があるのには、感心 させられます。僕なんか結構長いこと(子)具 とかわかってきたのに、ふりかえってみると、おいぶん 利想的だった。やうとこの年になつてきて、オレの 人生、(子)具とは切つてもきれない、気がつく始末 である。

「(子)具、あなた、なにをいふのよ」とおたれせう。
思ひ出してみると、(子)具で何人も挫折した。
さいわい、若い人は僕らのものを、おれらの、(子)具、
時と場合、一服もした(子)具を、おれらの、(子)具、
ほんとはその程度、(子)具、おれらの、(子)具、
思つたのが、おれらの、(子)具、おれらの、(子)具、
と思つたことがあるのである。(子)具、おれらの、(子)具、
でも、(子)具、おれらの、(子)具、おれらの、(子)具、
人によって、止めたくなる理由はいろいろあると思つた。
「(子)具、おれらの、(子)具、おれらの、(子)具、
だか、(子)具、おれらの、(子)具、おれらの、(子)具、
えたとしても、ちゃんとした、(子)具、おれらの、(子)具、
ある。えらいヤツがいるものだ。」